

2022年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月2日

上場会社名	マルサンアイ株式会社	上場取引所	名
コード番号	2551	URL	https://www.marusanai.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)塚 信好	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理統括部長	(氏名)磯村 智	(TEL) (0564) 27-3700
四半期報告書提出予定日	2022年5月2日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第2四半期の連結業績（2021年9月21日～2022年3月20日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第2四半期	15,285	—	182	—	189	—	105	—
2021年9月期第2四半期	15,003	3.7	349	△26.6	380	△21.3	152	△54.8

(注) 包括利益 2022年9月期第2四半期 111百万円 (—%) 2021年9月期第2四半期 162百万円 (△46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第2四半期	46.28	—
2021年9月期第2四半期	66.90	—

(注) 2022年9月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2022年9月期第2四半期連結累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第2四半期	25,693	6,570	25.6
2021年9月期	25,963	6,531	25.1

(参考) 自己資本 2022年9月期第2四半期 6,570百万円 2021年9月期 6,529百万円

(注) 2022年9月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2022年9月期第2四半期連結累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2022年9月期	—	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年9月21日～2022年9月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,996	3.0	332	△12.4	307	△24.3	176	△0.3	76.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期2Q	2,296,176株	2021年9月期	2,296,176株
② 期末自己株式数	2022年9月期2Q	14,688株	2021年9月期	14,688株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期2Q	2,281,488株	2021年9月期2Q	2,281,488株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年9月21日~2022年3月20日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、個人消費における持ち直しの動きに足踏みがみられました。先行きにつきましても、国際情勢が不透明となる中で、原材料価格の上昇や、金融資本市場の変動等を引き続き注視していく必要があります。

みそ業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による内食化傾向が継続しました。また、無添加、減塩等の付加価値商品の売上増加が見られるものの、市場全体では厳しい状況が続いております。

豆乳業界におきましては、料理への活用等、新しい楽しみ方により消費の幅が広がっており、健康志向の高まりを背景に、市場は底堅く推移しております。

このような環境の中で、当社グループは「健康で明るい生活へのお手伝い」を企業理念に定め、安全で安心できる製品の供給、企業活動を通じた社会貢献、コスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、豆乳が順調に推移したため152億85百万円(前年同四半期は150億3百万円)、営業利益は、広告宣伝費の戦略的投下により1億82百万円(前年同四半期は3億49百万円)、経常利益は、営業利益が減少したため1億89百万円(前年同四半期は3億80百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が減少したため1億5百万円(前年同四半期は1億52百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① みそ事業

生みその売上が減少したため、売上高は、24億55百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

a. 生みそ

主力製品である「純正こうじみそ」の売上が減少したため、売上高は、19億22百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

b. 調理みそ

一部シリーズ品の終売により品目数が減少したため、売上高は、1億80百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

c. 即席みそ

多食タイプが順調に推移したため、売上高は、2億44百万円(前年同期比0.02%増)となりました。

d. 液状みそ

2021年9月にリニューアルした「だし香る鮮度みそ」シリーズの売上が増加したため、売上高は、1億8百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳が順調に推移したため、売上高は、115億31百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

a. 豆乳

無調整豆乳及び「調製豆乳カロリー45%オフ1000ml」が好調に推移し、売上高は、102億8百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

b. 飲料

国内販売のアーモンド飲料は好調に推移したものの、海外向けアーモンド飲料の売上が減少したため、売上高は、13億22百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

③ その他食品事業

「豆乳グルト」等のチルド製品が順調に推移したため、売上高は、12億90百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料として、売上高8百万円（前年同期比8.0%減）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、109億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、原材料及び貯蔵品の増加7億33百万円等に対し、受取手形及び売掛金の減少5億19百万円、「その他」に含まれる未収消費税等の減少3億30百万円等があったためであります。

固定資産は、147億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億60百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少3億9百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、256億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億70百万円減少いたしました。

② 負債

流動負債は、103億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、未払法人税等の増加94百万円等に対し、支払手形及び買掛金の減少4億25百万円等があったためであります。

固定負債は、87億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億91百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、長期借入金の減少1億89百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、191億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少いたしました。

③ 純資産

純資産合計は、65億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加33百万円等によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加し、20億73百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億円の収入（前年同期は89百万円の収入）となりました。これは、減価償却費6億82百万円、売上債権の減少額5億19百万円等の収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億2百万円の支出（前年同期は10億90百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出6億6百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億49百万円の支出（前年同期は3億20百万円の収入）となりました。これは、長期借入金の返済による支出6億71百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の連結業績予想につきましては、2021年11月1日に公表いたしました連結業績予想に記載された内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,964,021	2,183,011
受取手形及び売掛金	5,249,993	4,730,763
商品及び製品	883,934	897,483
仕掛品	533,140	556,865
原材料及び貯蔵品	552,833	1,286,411
その他	1,782,798	1,301,549
貸倒引当金	△3,413	△3,039
流動資産合計	10,963,307	10,953,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,622,644	5,515,782
機械装置及び運搬具（純額）	4,163,760	3,854,076
土地	3,004,916	3,004,916
その他（純額）	455,676	669,379
有形固定資産合計	13,246,999	13,044,155
無形固定資産	188,345	207,932
投資その他の資産		
投資有価証券	168,109	150,541
その他	1,408,051	1,348,744
貸倒引当金	△10,882	△10,882
投資その他の資産合計	1,565,278	1,488,403
固定資産合計	15,000,623	14,740,491
資産合計	25,963,930	25,693,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,572,553	3,146,766
短期借入金	600,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,274,634	1,292,727
未払法人税等	26,278	120,656
賞与引当金	387,349	395,344
未払金	4,189,109	3,923,310
その他	460,233	1,113,289
流動負債合計	10,510,158	10,392,094
固定負債		
長期借入金	6,619,548	6,430,121
退職給付に係る負債	1,226,707	1,251,919
資産除去債務	459,097	461,620
その他	616,932	587,390
固定負債合計	8,922,284	8,731,052
負債合計	19,432,442	19,123,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	636,880	637,851
利益剰余金	4,992,850	5,025,988
自己株式	△41,281	△41,281
株主資本合計	6,453,893	6,488,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,982	13,903
為替換算調整勘定	36,360	49,887
退職給付に係る調整累計額	21,639	18,435
その他の包括利益累計額合計	75,981	82,226
非支配株主持分	1,612	163
純資産合計	6,531,487	6,570,391
負債純資産合計	25,963,930	25,693,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月21日 至 2021年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月21日 至 2022年3月20日)
売上高	15,003,464	15,285,644
売上原価	11,003,912	11,224,623
売上総利益	3,999,551	4,061,020
販売費及び一般管理費	3,649,942	3,878,384
営業利益	349,608	182,636
営業外収益		
受取利息	4,030	5,362
不動産賃貸収入	7,908	7,908
持分法による投資利益	1,244	-
為替差益	7,672	10,337
保険解約返戻金	20,193	-
その他	19,660	14,045
営業外収益合計	60,710	37,653
営業外費用		
支払利息	14,446	14,073
シンジケートローン手数料	6,702	6,986
持分法による投資損失	-	2,546
債権売却損	7,344	6,578
その他	1,336	817
営業外費用合計	29,830	31,002
経常利益	380,488	189,287
特別損失		
固定資産除却損	6,120	15,326
投資有価証券売却損	-	162
特別損失合計	6,120	15,488
税金等調整前四半期純利益	374,367	173,798
法人税等	221,776	68,181
四半期純利益	152,591	105,617
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,637	105,595

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月21日 至 2021年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月21日 至 2022年3月20日)
四半期純利益	152,591	105,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,615	△4,079
為替換算調整勘定	7,650	9,994
退職給付に係る調整額	△3,532	△3,203
持分法適用会社に対する持分相当額	2,779	3,532
その他の包括利益合計	9,512	6,244
四半期包括利益	162,103	111,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,150	111,840
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月21日 至 2021年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月21日 至 2022年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	374,367	173,798
減価償却費	666,765	682,529
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,584	△374
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,912	7,994
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21,869	20,631
受取利息及び受取配当金	△5,200	△6,515
持分法による投資損益 (△は益)	△1,244	2,546
支払利息	14,446	14,073
シンジケートローン手数料	6,702	6,986
為替差損益 (△は益)	△821	△389
固定資産除却損	500	740
売上債権の増減額 (△は増加)	442,935	519,489
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△309,469	△770,159
仕入債務の増減額 (△は減少)	△234,945	△427,343
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△2,080
未収入金の増減額 (△は増加)	△299,686	136,962
未払金の増減額 (△は減少)	△94,144	△206,887
未収消費税等の増減額 (△は増加)	81,270	330,195
その他	△302,539	702,247
小計	316,398	1,184,446
利息及び配当金の受取額	12,492	2,251
利息の支払額	△15,045	△14,589
法人税等の支払額	△224,285	△27,297
法人税等の還付額	51	55,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,611	1,200,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,057,096	△606,631
投資有価証券の取得による支出	△1,652	△1,602
投資有価証券の売却による収入	-	15,892
その他	△31,844	△9,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,090,592	△602,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	500
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△13,400	△1,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	899,500	△200,000
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△596,912	△671,334
シンジケートローン手数料支出	△7,217	△7,315
配当金の支払額	△159,704	△68,444
その他	△1,454	△1,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	320,810	△449,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,256	△4,389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△676,914	144,767
現金及び現金同等物の期首残高	2,884,421	1,929,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,207,506	2,073,777

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年9月21日 至 2021年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年12月11日 定時株主総会	普通株式	159,704	70.00	2020年9月20日	2020年12月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年9月21日 至 2022年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年12月16日 定時株主総会	普通株式	68,444	30.00	2021年9月20日	2021年12月17日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる主な変更点は以下のとおりです。

1. 有償支給取引においては、従来は有償支給した原材料等について消滅を認識しておりましたが、当該取引において買い戻す義務を負っていることから、有償支給した原材料等について消滅を認識しないことといたしました。なお、当該取引において支給品の譲渡に係る収益は認識しておりません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上原価は3,229千円減少、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,229千円増加しております。

また、当第2四半期連結会計期間末において、原材料及び貯蔵品が741,163千円増加、その他の流動負債が741,946千円増加、利益剰余金当期首残高が4,013千円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年9月21日 至 2021年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,504,607	11,218,277	1,271,159	14,994,044	9,420	15,003,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,504,607	11,218,277	1,271,159	14,994,044	9,420	15,003,464
セグメント利益又は損失(△)	104,662	2,444,940	△12,026	2,537,576	9,420	2,546,997

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,537,576
「その他」の区分の利益	9,420
全社費用(注)	△2,197,388
四半期連結損益計算書の営業利益	349,608

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年9月21日 至 2022年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,455,366	11,531,129	1,290,480	15,276,976	8,668	15,285,644
外部顧客への売上高	2,455,366	11,531,129	1,290,480	15,276,976	8,668	15,285,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,455,366	11,531,129	1,290,480	15,276,976	8,668	15,285,644
セグメント利益又は損失(△)	124,450	2,343,407	△3,955	2,463,902	8,668	2,472,571

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,463,902
「その他」の区分の利益	8,668
全社費用(注)	△2,289,934
四半期連結損益計算書の営業利益	182,636

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

「会計方針の変更等」に記載のとおり、収益認識会計基準等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。なお、当該変更は、主に豆乳飲料事業の報告セグメントの利益又は損失に影響しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2022年9月期第2四半期決算発表（連結）【参考資料】

マルサンアイ株式会社

（コード番号 2551 名証メイン市場）

1. 業績の推移

（%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	2021年9月期 第2四半期（累計）		2022年9月期 第2四半期（累計）		2021年9月期		2022年9月期 （予想）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	15,003	3.7	15,285	—	30,091	2.1	30,996	3.0
営業利益	349	△26.6	182	—	379	△58.5	332	△12.4
経常利益	380	△21.3	189	—	406	△55.8	307	△24.3
四半期（当期）純利益	152	△54.8	105	—	177	△75.3	176	△0.3

（注）2022年9月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2022年9月期第2四半期連結累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. セグメント別売上高の推移

（%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	2021年9月期 第2四半期（累計）		2022年9月期 第2四半期（累計）		2021年9月期		2022年9月期 （予想）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
生みそ	1,966	0.2	1,922	△2.3	3,666	△1.3	3,632	△0.9
調理みそ	189	2.9	180	△4.9	368	3.3	375	2.0
即席みそ	244	△2.1	244	0.0	464	△1.4	471	1.6
液状みそ	103	△5.2	108	4.4	200	△5.2	231	15.4
みそ事業計	2,504	△0.1	2,455	△2.0	4,700	△1.2	4,711	0.2
豆乳	9,894	5.0	10,208	3.2	20,494	2.6	21,427	4.6
飲料	1,323	8.0	1,322	△0.1	2,599	4.1	2,591	△0.3
豆乳飲料事業計	11,218	5.3	11,531	2.8	23,093	2.7	24,018	4.0
その他食品事業	1,271	△2.6	1,290	1.5	2,278	2.9	2,246	△1.4
技術指導料その他	9	11.0	8	△8.0	18	△1.0	19	5.9
合計	15,003	3.7	15,285	1.9	30,091	2.1	30,996	3.0

3. 財政状態の推移

	2021年9月期	2022年9月期 第2四半期	2022年9月期（予想）
総資産	25,963	25,693	25,627
純資産	6,531	6,570	6,630
自己資本比率	25.1%	25.6%	25.9%
1株当たり純資産	2,862円11銭	2,879円80銭	2,886円89銭

4. キャッシュ・フローの推移

	2021年9月期	2022年9月期 第2四半期	2022年9月期（予想）
営業活動による キャッシュ・フロー	714	1,200	1,825
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,385	△602	△876
財務活動による キャッシュ・フロー	707	△456	△920
現金及び現金同等物 期末残高	1,929	2,073	1,957

5. 配当の状況

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期（予想）
1株当たり配当額	70.0円	30.0円	30.0円
配当性向	22.3%	38.6%	39.0%

6. 設備投資額及び減価償却費の推移

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期（予想）
設備投資額	2,584	1,926	903
減価償却費	1,444	1,442	1,445

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。